

さっぽろ女性応援festa2019

～一人一人の小さな気付きで、ミライが変わる！～

を開催しました

令和元年(2019年)11月22日(金)と23日(土)の2日間の日程で、札幌エルプラザ(札幌市北区)で開催した「さっぽろ女性応援festa2019」において、令和元年度の「北海道働き方改革推進企業・女性活躍表彰」と「仕事と家庭を考える集い」を実施しました。

この催しでは、少子・高齢化、女性の社会進出が進む中で、誰もがその能力を十分に発揮し、仕事と家庭を両立しながら働き続けられる男女ともに働きやすい職場環境づくりに向けた企業等の取組を促進するため、今年度は優れた取組を積極的に進めている3つの企業をフェスタ初日のオープニングセレモニーにおいて表彰するとともに、その後行われた「仕事と家庭を考える集い」においては、「叶えたい「働き方」とは～私たちからの提言～」をテーマに、特に女性活躍の取組に関心のある参加者が多数集まり、ワークショップ形式で交流や情報交換を図りました。

festaは、2日間にわたり開催され、盛況のうちにフィナーレを迎えることができました。

- ◆開催日時 令和元年(2019年)11月22日(金) 13:30～18:00
令和元年(2019年)11月23日(土) 13:30～18:00
- ◆開催場所 札幌エルプラザ公共施設(札幌市北区北8西3)
- ◆主催 札幌市
- ◆共催 北海道、HATAJOラボ(北海道新聞社)、(一社)North-woman、北海道大学人材育成本部女性研究者支援室、北海道テレビ放送(株)
- ◆協力 フェュージョン(株)、中央バスビジネスサービス(株)、トップワーク(株)、札幌駅前通まちづくり(株)、積水ハウス(株)札幌支店、(福)清恵会特別養護老人ホーム三陽、北開工営(株)、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、第一生命保険(株)、日本生命保険(相)、伊藤組土建(株)、(株)ズコーシャ、(株)東海日動パートナーズ北海道、(株)堀口組、(株)ドコモCS北海道、萩原建設工業(株)、本間社会保険労務士事務所、市立札幌開成中等教育学校、ふるがく事務局(さっぽろ連携中枢都市圏事業)
- ◆後援 札幌商工会議所、北海道経済産業局、北海道労働局、北海道経済連合会、日本労働組合総連合会北海道連合会、北の輝く女性応援会議、AIR-G「エフエム北海道」、(一社)北海道中小企業家同友会札幌支部

◆北海道働き方改革推進企業・女性活躍表彰(22日 13:40～ 3階ホール)

受賞企業(五十音順) 株式会社釧路製作所、株式会社玉川組、特定非営利活動法人リフテ

◆北海道働き方改革推進企業認定制度ゴールド認定表彰(22日 13:40～ 3階ホール)

受賞企業 本間社会保険労務士事務所



女性活躍表彰 表彰式の様子



(株)釧路製作所 新名社長と土屋副知事



ゴールド認定表彰 表彰式の様子



(株)玉川組 難波江副社長と土屋副知事



(特非)リフテ 大村理事長と土屋副知事



本間社会保険労務士事務所 小林様と土屋副知事

◆令和元年度(2019年度)仕事と家庭を考える集い(22日16:00～ 4階大研修室A・B)

本年度の集いは、「叶えたい「働き方」とは～私たちからの提言～」をテーマに、(株)ワーク・ライフバランス認定コンサルタントであり、育休後・復職アドバイザーとして幅広く活躍されている、readymork(レディマーク)代表 福澤由佳氏をコーディネーターに迎え、北海道働き方改革推進企業・女性活躍表彰を受賞された企業の方の取組を事例発表していただいた後、参加者同士で、「仕事を通じて得たいものは何か？また、その理由」、「ライフイベント(結婚、出産、病気、介護等)を迎えても、その希望(仕事を通じて得たいもの)を叶え続けるには、どのような環境・働き方が必要か」の2つの題材について語り合いました。

集いは、傍聴の方々も含め30名余りの多くの皆様のご参加をいただき、盛会の内に終わりました。最後には記念撮影にもご協力いただき、ありがとうございました。



コーディネーターを務めていただいた 福澤 由佳 氏

○最初にコーディネーターから自己紹介があり、次に北海道働き方改革推進企業・女性活躍表彰の受賞企業から取組事例の発表がありました。

○ご出席いただいた方には、企業において、働き方改革の取組を推進しているご担当者様も多くいらっしゃったことから、受賞企業の取組事例の発表では、出席者やコーディネーターから、積極的に質問がなされるなど、賑やかに進行しました。

○その後、コーディネーターからテーマに沿った題材が示され、テーブル毎に意見交換を行い、その結果をそれぞれの代表者が発表しました。

○「仕事を通じて得たいものは何か？また、その理由」では、社会に貢献しているという満足感を得たいといった理由から、「やりがい」や「信頼関係」といった意見のほか、生きていく上で必要であることや、生活の安定・満足感につながるという理由から、「お金」といった率直な意見もありました。

○「ライフイベント(結婚、出産、病気、介護等)を迎えても、その希望(仕事を通じて得たいもの)を叶え続けるには、どのような環境・働き方が必要か」では、「多様な働き方(場所・時間)を選択することができる制度」や、「公平な評価を受けることができる環境」などの意見が出ました。

○そのほかには、「上司や同僚など、職場との信頼関係」が重要であるという意見や、「社長や経営層などのトップの強い意志」が必要であるといった意見も出ました。

○ご出席いただいた皆様は、自社での取組や、自身の実体験をもとに、様々な働き方について、積極的に意見交換をされていました。

○最後は、本日お世話になった福澤氏とご出席いただいた皆様と記念撮影をしました。

○ご多忙のところ、多くの方々のご出席をいただきありがとうございました。



令和元年度(2019年度)仕事と家庭を考える集いの一コマ



コーディネーター福澤氏を囲んでの記念撮影